

保護者のみなさま、こんにちは。本校校長の田村でございます。日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただいていることに改めまして感謝申し上げます。

先日の体育祭にはお越しただけたでしょうか。新型コロナウイルスの影響で、昨年度は全国一斉休校、そして学校再開後もほとんどすべての学校行事が中止となりました。今年は、少しずつではありますが、感染防止のために必要な行動が分かってきました。そこで、学校医や教育委員会にもご指導を仰ぎながら、なんとか生徒達に体育祭をやらせてやりたいという思いで、これまでの伝統をすべてリセットして、0から体育祭を考え直し、過日、天候により一度延期にはなりましたが、後日、晴天にも恵まれ体育祭を実施することができました。体育祭で圧倒的な存在感を放っていたのが、ここにいる3年生たちです。ラベンダー体操も飯中ソーランにしても、すべてが中心的存在で、飯沼中学校の顔として、頼もしく、カッコいい姿でした。手前味噌にはなりますが、体育祭を企画した本校職員と飯沼中の3年生を、私は校長として誇りに思います。また、体育祭に関する保護者アンケートには、様々なご意見が寄せられました。幸い、良いことがほとんどだったのですが、中には耳の痛いご意見も頂戴しました。私は、苦情は宝だと思っております。苦情の中には、気持ちは分かるが聞き入れられないこともあります。中には我々の気づかない視点に気づかされることもあります。頂戴したご意見を参考に、来年度は更に良い体育祭になればと考えております。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

さて、夢のような楽しい日々が終わり、1学期も後半戦となります。後半戦は、学校総合スポーツ大会、期末テスト、修学旅行の準備、そして進路活動などが中心となります。修学旅行につきましては、後日詳しい保護者会を行いますが、今日現在のところ、実施の方向で準備を進めています。既に生徒達は、一人一台のタブレットパソコンを使って、先日事前学習に入ったところです。修学旅行は、東京を通り、関西に学習に行くもので、社会情勢に大きく左右される行事でもありますので、常に新型コロナウイルスをはじめとする社会情勢を注視してまいります。

3年生の生徒諸君や保護者の皆様にとって、この一年間の最大の関心ごとは、やはり卒業後の進路のことであろうと思われれます。このあと、学年主任や進路担当から話がありますので、よく聞いていただければと思います。私から進路について、2つだけ申しますと、1つ

目、進路指導は担任とのやり取りではないということ。窓口は担任ですが、生徒や保護者とのやり取りは、学年職員はもちろん、全職員の知恵や経験を集め、確認をした上での指導やアドバイスであるということ。担任の先生がこう言ったということは、飯沼中の先生方の意見の総意がそうだということです。2つ目は、生徒諸君は今まさに人生の最先端が中学3年生なわけですから、わからないかもしれませんが、保護者の皆様には、よくわかると思います、高校受験の合格、不合格など、人生を左右するものではないということ。私の経験上、3年生全員が第一志望の学校に合格した年はありません。個人的な話をさせていただくと、私の息子はこの春、大学を卒業したのですが、高校受験では、県立高校に不合格になってしまいました。ゆえに私立高校に進学したわけですが、文武両道のとても充実した学校で高校生活を送り、浪人することなく第一希望の大学に合格することができました。つまり、何が言いたいかというと、高校受験は単なる人生の通過点に過ぎないのです。決してゴールではないということです。第一志望の高校に進んだからといって、それが幸せな未来につながっているとは限らないし、第二志望の高校だったとしても、気持ち新たにがんばり、将来につながればそれでよいのです。保護者の皆様には、その辺を子供と同じレベルで考えるのではなく、大きな立場で、大きな視点でお子さんの高校受験というものを考えていただきますようお願いいたします。

私からは以上となります。この後もどうぞよろしくお願いいたします。

令和3年6月3日 春日部市立飯沼中学校長